

12 天城遊歩道

狩野川の上流・本谷川沿いに延びた 自然探索遊歩道

天城山に降った雨は本谷川を流れ、猫越川と湯ヶ島温泉で合流して狩野川となる。天城遊歩道はその少し上流、本谷川にかかる瑞祥橋を起点として、上流の伊豆一の名瀑・浄蓮の滝までのおよそ3kmの自然遊歩道である。

修善寺駅から昭和の森会館行き、河津駅行き、湯ヶ島温泉行きのバスで29分、湯ヶ島温泉口で下車。旅館「落合」の前を通り国道から右に少し急な坂を下り瑞祥橋を渡った所がこのコースの起点である。真っすぐ行くと湯ヶ島温泉・世古峠方面。左下に風情あるつり橋(向山橋)があるので、ちょっと寄り道している。

河津駅行き、湯ヶ島温泉行きのバスで29分、湯ヶ島温泉口で下車。旅館「落合」の前を通り国道から右に少し急な坂を下り瑞祥橋を渡った所がこのコースの起点である。真っすぐ行くと湯ヶ島温泉・世古峠方面。案内板を見て舗装道の緩い坂を上る。左下に風情あるつり橋(向山橋)があるので、ちょっと寄り道している。

河津駅行き、湯ヶ島温泉行きのバスで29分、湯ヶ島温泉口で下車。旅館「落合」の前を通り国道から右に少し急な坂を下り瑞祥橋を渡った所がこのコースの起点である。真っすぐ

こう。ここも「湯道」(22頁参照)のコースの一部となっている。

真っすぐ緩やかに上って大滝梅園への分岐を左に行く。元民宿のこ荘の前を通ると舗装道の終点。左に細い道を下れば本谷川の河原に出る。前方に大きなダムが見える。ダムの鉄階段を上って降り、木の小さな橋を渡ると水恋鳥広場。親水公園となっていて、夏には水遊びを楽しむ家族連れで賑わう所である。

廣場の一角に与謝野晶子の歌碑がある。昭和10年船原温泉に滞在し多くの歌を残した内の一首。

伊豆の奥天城の山を夜越えぬ淋しき事になればねれば

カエデが植栽された道を行き、車止めを過ぎると左に発電所が見える。

“踊子といへば朱の櫛あまき秋”的句が刻まれていて、裏には歴代伊豆の踊子に主演した女優の名前が連記されている。

第一回 昭和8年 田中絹代 第二回 昭和29年 美空ひばり 第三回 昭和35年 鶴剣晴子。 第四回 昭和38年 吉永小百合 第五回 昭和42年 内藤洋子 第六回 昭和49年 山口百恵

舗装道を緩やかに上り、国道を横断して、少し先で再び国道に出たら右に2~3分歩けば浄蓮の滝。風情ある茶屋「踊子茶屋」で一服したい。

伊豆の踊子像の所から石段を下って伊豆一の名瀑・浄蓮の滝へ行ってみよう。途中

岩尾ダムの大きな壁にぶつかり左にダムを越えて川沿いに上る。丸太

うつそとした樹林を下ると柱状

国道に出る。バス停「天城山荘」の所である。横断歩道を渡り石段を上ると石仏のある広場。シカの角のような形をした白い碑がある。映画「伊豆の踊子」の第一回監督であつた五所平之助の句碑である。

“踊子といへば朱の櫛あまき秋”的句が刻まれていて、裏には歴代伊豆の踊子に主演した女優の名前が連記されている。

第一回 昭和8年 田中絹代 第二回 昭和29年 美空ひばり 第三回 昭和35年 鶴剣晴子。 第四回 昭和38年 吉永小百合 第五回 昭和42年 内藤洋子 第六回 昭和49年 山口百恵

このからか一匹のクモが現れ、足にクモの糸をかけているのを見つけた。おじいさんが、「服している」と、どう何をしているのか、特に気にしていなかったが、しばらくしてふと見るとなかったが、しばらくしてふと見る。とまたまた現れては何度も糸をかけている。そろそろ仕事にかかるか、とクモの糸を近くの大木にひっかけた。野良仕事を続けていると、滝の方からバリバリドドくんという音がした。近づいてみると何とさつきの大木が滝に引き込まれていた。おじいさんはびっくりし、野良仕事もそこで止めた。そこには野良仕事にかかるか、とクモの糸を近くの大木にひっかけた。野良仕事を続けていると、滝の方からバリバリドドくんという音がした。近づいてみると何とさつきの大木が滝に引き込まれていた。おじいさんはびっくりし、野良仕事もそこで止めた。そこには野良仕事にかかるか、とクモの糸を近くの大木にひっかけた。

常設のマス釣り場があり、下流には緑のワサビ田が広がっている。急な石段を戻って天城遊歩道は終点となる。ここは「踊子歩道」の起點である。(33頁参照)



▲五所平之助の句碑

舗装道を緩やかに上り、国道を横断して、少し先で再び国道に出たら右に2~3分歩けば浄蓮の滝。風情ある茶屋「踊子茶屋」で一服したい。

伊豆の踊子像の所から石段を下って伊豆一の名瀑・浄蓮の滝へ行ってみよう。途中

常設のマス釣り場があり、下流には緑のワサビ田が広がっている。急な石段を戻って天城遊歩道は終点となる。ここは「踊子歩道」の起